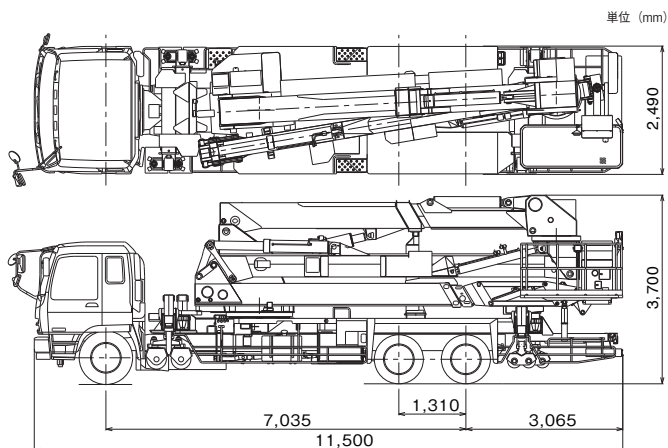


■ 主要諸元

バスケット	積載荷重	300 kg 又は 3名
	最大地下深さ	17.4m
	最大地上高	16.1m
	最大作業半径	11.4m
	最大差込み長さ	15.0m
バスケット装置	外寸法	2.0m×0.85m×1.0m(長さ×幅×手すり高さ)
	首振り角度	右100°～左90°
	首振り速度	190°/55s
旋回台	バスケット装置	アルミ合金製
	首振り装置	油圧モータ駆動遊星歯車減速式
	自動水平装置	複動油圧シリンダ・リンク併用式、対地角連動式(地面に対し水平維持)
第1ブーム	旋回角度	右100°～左100°
	旋回速度	200°/67s
	起伏角度/上げ速度	5°～77°/67s
第2ブーム	長さ	6.0m～7.9m
	伸びし速度	1.9m/23s
	形式	2段油圧伸縮式 箱形断面溶接構造
第3ブーム	起伏装置	複動油圧シリンダ直押し式
	伸縮装置	複動油圧シリンダ直押し式
	起伏角度/上げ速度	0°～90°/70s
第4ブーム	長さ	6.96m
	旋回角度	285°
	形式	箱形断面溶接構造
バスケット側リモコン装置	起伏装置	複動油圧シリンダ直押し式
	旋回装置	油圧モータ駆動ウォーム歯車減速式
	起伏角度/上げ速度	～70°～90°/88s
油圧ポンプ	長さ	5.18m～11.61m
	伸びし速度	6.43m/38s
	形式	3段同時伸縮式 箱形断面溶接構造
作動油タンク容量	起伏装置	複動油圧シリンダ・リンク併用式
	伸縮装置	複動油圧シリンダ・ワイアロープ併用式
	起伏角度/上げ速度	～23°～90°/40s
アウトリガ	長さ	1.3m
	リフト高さ	1.8m
	形式	箱形断面溶接・平行リンク構造
バスケット部	起伏装置	複動油圧シリンダ直押し式
	フロント	全油圧H型、箱形断面溶接構造、スライドジャッキ各個操作装置付、ゴムソリッドタイヤ付
	リヤ	最大張出幅:4.04m(タイヤ中心)、中間張出幅:3.0m(タイヤ中心)
操作装置	最大反力	14,000kg
	設置占有幅	左右最大張出:4.54m、片側のみ最大張出:3.52m
	バスケット部	ジョイスティック:第1ブーム伸縮、起伏・旋回、第3ブーム伸縮、起伏・旋回スイッチ:第2ブーム起伏、第4ブーム起伏、バスケット首振り、緊急停止、自動展開・格納(下作業用)、自動展開・格納(上作業用)、アクセル・非常用ポンプ、ブーム干渉規制解除、エンジン始動表示機能:作動限界、干渉停止、音声警報
制御装置	旋回台部	ジョイスティック:第1ブーム伸縮、起伏・旋回、第3ブーム伸縮、起伏・旋回スイッチ:第2ブーム起伏、第4ブーム起伏、バスケット首振り、緊急停止、自動展開・格納(下作業用)、自動展開・格納(上作業用)、アクセル・非常用ポンプ、ブーム干渉規制解除、エンジン始動表示機能:作動限界、干渉停止、音声警報
	フレーム部(左右側方2ヶ所)	スライドジャッキ選択
	キャリヤ部	アウトリガ張出・格納、傾斜表示(3段階)
安全装置	キャリヤ部	インターホン
	制御装置	自動展開・格納装置、オートアクセル装置(レバー操作に連動)
	安全装置	作業範囲規制装置、緩起動・緩停止制御、速度制御、干渉防止装置、不具合箇所自己診断機能、ジャッキインタロック装置、ブームインタロック装置、車体傾斜警報装置、ブレーキロック装置、緊急停止装置(表示灯付)、非常用ポンプ、油圧安全弁、油圧シリンダロック装置、バスケット～車両キャブ間通話装置
標準付属品	タイヤ歯止め、工具、グリースポンプ	
オプション	作業灯(バスケット部)、安全ベルト、電源取出(AC100V・10A)	
架装対象車	25t車クラス	

※BT-400は高所作業車の技能講習で運転ができます。

■ 外観図

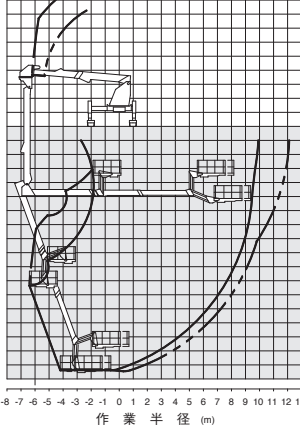


※架装車により異なります。

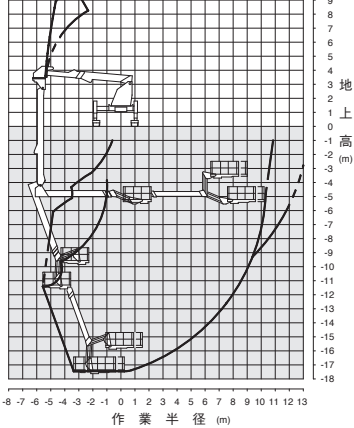
■ 作業範囲図

下作業

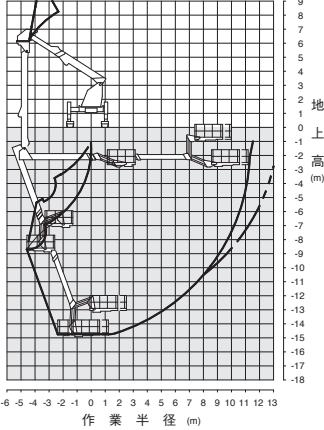
アウトリガ最大張出



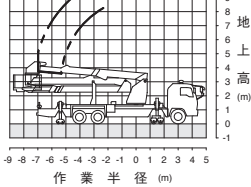
アウトリガ中間2張出



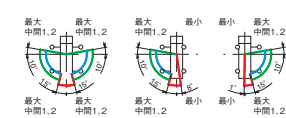
アウトリガ中間1張出



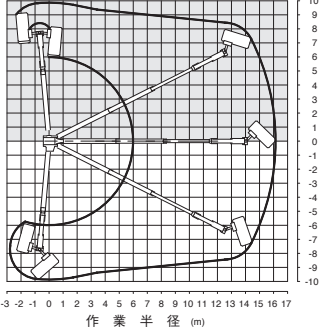
後方性能(展開途中状態)



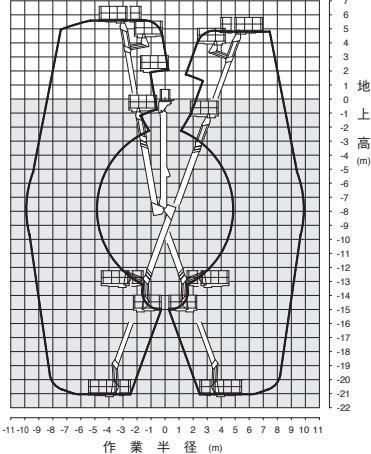
アウトリガ張出状態により旋回可能範囲が異なります。
アウトリガ張出状態と旋回可能範囲の例を下図に示します。



第3ブーム作業範囲(平面図)



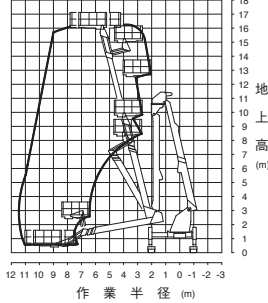
第3ブーム作業範囲(壁面作業図)



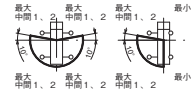
本図は旋回台から見た時の第3ブーム作業範囲(壁面作業図)です。
第1ブームトップピン高さ、第3ブーム旋回中心を原点としています。

上作業

アウトリガ最大張出・中間1,2張出



アウトリガ張出状態によって作業領域が異なります。
アウトリガ張出状態と作業領域を下図に示します。
左側アウトリガ最小張出では右側作業はできません。



注意

1. 作業範囲は水平堅土上におけるものでブームのたわみは、含んでおりません。
2. アウトリガは最大張出または中間1,2張出で使用してください。アウトリガその場設置での作業性能はありません。
3. 前後でアウトリガの張出幅の異なる場合は、小さい方の性能となります。
4. 本図の作業範囲内であっても各ブームの状態により、干渉防止機能等が働き制限されることがあります。
5. --- は第1ブーム可動範囲およびそれともない拡大される作業範囲を表しています。